

昭和46年度水稻作関係除草剤

試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会

当協会委託の昭和46年度水稻作用除草剤の試験成績検討会が、昭和46年12月15日～17日の3日間、東京（日本都市センター）において開催されたので、ここにその結果の概要について紹介する。

1. 供試除草剤の動向

本年度供試された薬剤は、移植栽培本田用92薬剤、稚苗移植用38薬剤、苗代用13薬剤、湛水直播用11薬剤、乾田直播用13薬剤、畦畔用6薬剤、休耕田用11薬剤、合計184薬剤であった。

供試薬剤の傾向をみると、移植栽培本田用が著しく減少したのに対し、稚苗移植用が増加した。これは、今後の水稻作栽培の大規模化にともない、省力化の方法として稚苗の機械移植栽培の普及を見こんでいるためであろうと思う。

次に、注目される点は、除草剤の混合剤化がとくに目立ち、従前の土壌処理剤と茎葉処理剤との組み合わせから、土壌処理剤の混合剤化の傾向がみられる。利用場面、作用特性の面からみると、① 処理適期幅が広い。② 雑草種類

間の選択殺草性が小さく、一年生雑草と多年生雑草の同時防除。③ 殺草効果の持続性が長い。④ 他目的農薬の近接散布が可能。などの点に適する除草剤の開発が盛んであることが注目される。

また、植代時土壌混和处理剤が、省力化とともに効力の持続性・安定化の点で注目され、有効な除草剤も出現している。

2. 試験結果の概要

本年度供試された除草剤の成分を示すと、第1表の通りである。

それらのなかで、実用化に移されたものは、移植本田用52薬剤、稚苗移植用（機械移植）20薬剤、苗代用6薬剤、湛水直播用5薬剤、乾田直播用7薬剤、畦畔用5薬剤、休耕田用2薬剤の合計97薬剤であった。適用性試験の判定結果は、第2表に示した。

実用化の認められた除草剤の使用基準は、第3表に示す通りである。

なお、詳細については、昭和46年度水稻作関係除草剤適用性試験成績概要を参照されたい。

〈第1表〉 昭和46年度水稻作関係供試除草剤成分一覧表

I-2. 移植本田一植代前混和

№	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委託会社
1	G - 3 1 5	乳 剤	5-ターシャリイブチル-3-(2,4-ジクロル-5-イソプロピルオキシフェニル)-1,3,4-オキサジアゾール-2-オン 1.2%	日 産 化 学
2	G - 3 1 5	粒 剤	同 上 2%	同 上
3	B - 3 0 1 5 (ベンチオカーブ)	粒 剤	S-(4-クロルベンジル)N, N-ジエチルチオール カーバメート 10%	クミアイ化学
4	BM - 3 0 1 5	粒 剤	ベンチオカーブ CNP 7% 6%	クミアイ化学 三井東圧化学
5	N I P	乳 剤	2,4-ジクロルフエニル-4-ニトロフエニルエーテル 2.5%	三 洋 貿 易 東 京 有 機
6	X - 5 2	粒 剤	2,4-ジクロルフエニル-3'-メトキシ-4'-ニトロフエニルエーテル 7%	X-52協議会 (石原産業)
7	X - 5 2 化成肥料		同 上 N, P, K 0.7% 12+18+16%	同 上

一耕起前一茎葉処理

1	パ ラ コ ー ト	液 剤	1,1'-ジメチル-4,4'-ビリウムジクロリド 2.4%	日 本 農 薬 武 田 薬 品
---	-----------	-----	----------------------------------	--------------------

I-2. 移植本田一移植前後土壌処理

№	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委託会社
1	B - 3 0 1 5	粒 剤	ベンチオカーブ 10%	クミアイ化学
2	BM - 3 0 1 5	粒 剤	ベンチオカーブ CNP 7% 6%	クミアイ化学 三井東圧化学
3	G - 3 1 5	粒 剤	G-315 2%	日 産 化 学
4	G - 3 1 5 B	粒 剤	G-315 1.5% ブタクロール(2-クロル-2',6'-ジエチル-N-(ブトキシメチル)アセトアニリド) 3%	日 産 化 学
5	X - 5 2	粒 剤	X-52 7%	X-52協議会 (石原産業)
6	N I P - 1 2	粒 剤	N I P 1.2%	三 洋 貿 易 東 京 有 機
7	K H - 1 5 8	粒 剤	N I P A C N (モグトン) 5.1% 7.2%	兼 商
8	トリフルラリン A	粒 剤	α, α, α -トリフルオル-2,6-ジニトロN, N-ジプロピル-パラートルイジン 3%	シオノギ製薬
9	S S T - 1	粒 剤	N I P SK-23 (新規化合物) 1.4%	三 洋 貿 易 東 京 有 機 昭 和 電 工

№	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委託会社
10	S S T - 2	粒 剤	N I P SK-23 } 14 %	三 洋 貿 易 東 京 有 機 昭 和 電 工
11	ブタクロール 2.5	粒 剤	2-クロール-2', 6'-ジエチル-N-(ブトキシメチル) アセトアニリド 2.5 %	三菱モンサント
12	ブタクロール (5.0)	粒 剤	同 上 5 %	同 上
13	M O - 1 8	粒 剤	2,4,6-トリクロール-4'-ニトロジフェニルエーテル 18 %	三 井 東 圧

1-3. 移植本田—移植後土壌処理（ノビエ 1.5 葉以下）

№	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委託会社
1	B - 3 0 1 5	粒 剤	ベンチオカーブ 10 %	クミアイ化学
2	B M - 3 0 1 5	粒 剤	ベンチオカーブ CNP 6 %	クミアイ化学 三井東圧化学
3	G - 3 1 5	粒 剤	G-315 12 %	日 産 化 学
4	G - 3 1 5	粒 剤	G-315 2 %	同 上
5	G - 3 1 5 B	粒 剤	G-315 1.5 % ブタクロール 3 %	同 上
6	M T - 2 0 3	粒 剤	CNP 9 % MT-103（カーバメイト系） 7 %	三井東圧化学
7	M T - 3 0 3	粒 剤	CNP MT-101（アニライド系） 7 % MT-103（カーバメイト系） 7 %	同 上
8	X - 5 2	粒 剤	X-52 7 %	X-52協議会 （石原産業）
9	K H - 1 5 9	粒 剤	ACN（モゲトン） 5.2 % N I P 5.1 % MCPB 0.72 %	兼 商
10	K H - 1 5 8	粒 剤	ACN（モゲトン） 7.2 % N I P 5.1 %	兼 商
11	ブタクロール 5.0	粒 剤	2-クロール-2', 6'-ジエチル-N-(ブトキシメチル) アセトアニリド 5 %	ブタール普及会 〔三菱モンサ ント, 三共 日農, 北興〕
12	シメトリン・ MCPB	粒 剤	シメトリン 1.5 % MCPB 1 %	日 本 化 薬
13	モリネート A	粒 剤	モリネート 6 % 既知化合物 6 %	オールドラム研究会 〔スタウプアー 八洲, トー メン, 三笠〕
14	Y K - 4 8 7 6	粒 剤	N-エチルクロロアセトアニリド 7 %	八 洲 化 学 科 研 化 学
15	トリフルラリン A	粒 剤	トリフルラリン 3 %	シオノギ製薬
16	T H - 6 2 M	粒 剤	ペノキサゾール（2-（2-クロロベンジル）-5-プロ ビル-1,3,4-オキサジアゾール） 5 % CNP 5 %	武 田 薬 品
17	CNP・MPP	粒 剤	CNP 9 % MPP：ジメチル-4-（メチルチオ）-3-メチルフェ ニルチオホスフェート 5 %	八 洲 化 学

№	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委託会社
18	T O C - 6 0 4	粒 剤	N I P 7 % 殺虫成分 4 %	東 京 有 機
19	S - 9 2	粒 剤	2,4-ジクロロ-4'-シアノジフェニルエーテル 15 %	住 友 化 学
20	S - 5 9 - D	粒 剤	2,6-ジ第3ブチル-4-メチルフェニル-N-メチルカーバメイト (S-59) 15 % S-92 10 %	同 上
21	S - 7 1	乳 剤	有機リン系化合物 25 %	同 上
22	S - 8 0	乳 剤	2,4,6-トリクロロ-4'-シアノジフェニルエーテル 25 %	同 上
23	S - 6 5 - K	粒 剤	2,4-ジクロロフェノキシアクリル酸シクロヘキシルエステル (S45865) 7 % 3-クロロ-2-アミノ-1,4-ナフトキノン (06K) 7 %	住 友 化 学 兼 商
24	H Z - 1 4	粒 剤	フラン系化合物 6 %	メルク農業研究会 「エーメルク」 大日本除虫 菊, 武田薬 品
25	K W - 1 0	粒 剤	N I P 7 % H Z - 1 4 6 %	大日本除虫菊
26	S K - 2 3	水和剤	新規化合物 10 %	昭 和 電 工
27	S K - 6 3	水和剤	新規化合物 10 %	同 上
28	S S T - 1	粒 剤	N I P } S K - 2 3 } 14 %	三 洋 貿 易 東 京 有 機 昭 和 電 工
29	S S T - 2	粒 剤	N I P } S K - 2 3 } 14 %	同 上
30	H W - 7 2	乳 剤	ジフェニルエーテル系 25 %	保 土 谷 化 学
31	H W - 7 2	粒 剤	ジフェニルエーテル系 5 %	同 上
32	H W - 8 2	粒 剤	H W - 7 2 5 % X (新規化合物) 6 %	同 上
33	H W - 6 2	粒 剤	P C P - Na 20 % X (新規化合物) 7 %	同 上
34	Dowco 273	粒 剤	新規化合物	ダウ・ケミカル
35	Dowco 221-K	粒 剤	α -(2,2,2-トリクロロエチル)スチレン (Dowco 221) 2.5 % Dowco 273	同 上
36	N C - 2 3	水和剤	Siduron 50 %	日本カーバイド
37	N C - 2 4	乳 剤	新規化合物	同 上
38	N C - 2 5	粒 剤	N C - 2 4 2 % α (既知化合物) 2 %	
39	N C - 2 6	粒 剤	N C - 2 4 2 % β (既知化合物) 5 %	同 上
40	N C - 2 7	粒 剤	N I P との三種混合 9.7 %	同 上
41	N C - 2 8	粒 剤	N I P 4 % リニユロン 0.5 % シデユロン 5 %	同 上

1-4. 移植本田一茎葉兼土壌処理

No	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委託会社
1	B-3015S	粒 剤	ベンチオカーブ 7% シメトリン 1.5%	クミアイ化学
2	NH6967S	粒 剤	2,4-ジクロロフェニルビベリジニルカーボキシレート(フエノビレート) 5% シメトリン 1.5%	日 本 農 薬
3	NH-703	粒 剤	ベンチオカーブ 10% MCPB 0.7%	日 本 農 薬
4	NH6967・ S・MCPB	粒 剤	フエノビレート(NH6967) 4% シメトリン 2.5% MCPB 0.7%	同 上
5	MCC・MCPB	粒 剤	メチル-N-(3,4-ジクロロフェニル)カーバメイト(MCC) 20% MCPB 0.9%	スエップ普及会 〔日産, 日農〕 〔北興〕
6	ブタクロール	粒 剤	ブタクロール 5%	ブタール普及会 〔三菱モンサント, 三共〕 〔日農, 北興〕
7	ブタクロールS	粒 剤	ブタクロール 4% シメトリン 1.3%	ブタエース普及会 〔三菱モンサント, 三共〕 〔日農〕
8	CP-19H	粒 剤	ブタクロール 4% フエノチオール(2-メチル-4-クロロフエノキシチオ酢酸-S-エチルエステル) 0.6%	CP-19H 研究会 〔三菱モンサント, 北興〕 化学
9	アミプロホスS	粒 剤	O-エチル-O-(2-ニトロ-4-メチルフェニル)N-イソプロピルチオ)フオスホロアミデート(アミプロホス) 7% シメトリン 1.5%	日本特殊農薬
10	アミプロホスMCPB	粒 剤	アミプロホス 7% MCPB 1%	同 上
11	MT-303Z	粒 剤	CNP 7% MT-101 7% MT-103 7%	三井東圧化学
12	X-52	粒 剤	X-52 7%	X-52協議会 (石原産業)
13	X-52S	粒 剤	X-52 5% シメトリン 1.5%	同 上
14	X-52B	粒 剤	X-52 5% アニライド系化合物 3%	同 上
15	X-52T	粒 剤	X-52 5% トリフルラリン 2.5%	同 上
16	モリネートS	粒 剤	モリネート(S-エチル-ヘキサヒドロ-1H-アゼピン-1-カーボチオエート) 6% シメトリン 1.5%	オルドラム研究会 〔スタウファー〕 トーマン, 三笠, 八洲 化学

№	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委託会社
17	モリネート S 20	粒 剤	モリネート 6 % シメトリン 2 %	オールドラム研究会 「スタウプアー トーメン, 三笠, 八洲 化学」
18	モリネート S M	粒 剤	モリネート 8 % シメトリン 1.5 % MCPB 0.8 %	同 上
19	モリネート M	粒 剤	モリネート 6 % MCPB 0.8 %	同 上
20	モリネート S ダイアジノン	粒 剤	モリネート 6 % シメトリン 1.5 % ダイアジノン 5 %	同 上
21	D C P A ベンチオカーブ	粒 剤	DCPA 17 % ベンチオカーブ 7 %	クミアイ化学 保土谷化学
22	T H - 6 2 D	粒 剤	ペノキサゾール 5 % シメトリン 1.5 %	武 田 薬 品
23	T H - 6 2 M	粒 剤	ペノキサゾール 5 % CNP 5 %	同 上
24	シメトリン・ MCPB 3.5	粒 剤	シメトリン 2.5 % MCPB 1 %	日 本 化 薬
25	S - 5 9 - M	粒 剤	2,6-ジ第3ブチル-4-メチルフェニル-N-メチルカ ーバメイト (S-4159) 15 % MCPエチル 0.5 %	住 友 化 学
26	A - 1 4 0 4	水和剤	2-メチルチオ-4-イソプロピルアミノ-6-(γ-メト キシプロピルアミノ)-S-トリアジン 25 %	ガイギーサービス
27	J - 8 8	乳 剤	MCP系化合物 20 %	石 原 産 業
28	J X - 8 8	粒 剤	X-52 5 % J-88 1.2 %	同 上
29	BENZOMARC	粒 剤	urea系化合物 5 %	S C E T I (国際技術交易)
30	O K - 7 0 1	粒 粒	インダン誘導体 10 %	大 塚 化 学
31	O K - 7 0 2	粒 剤	OK-701 6 % シメトリン 1.5 %	同 上
32	O K - 7 0 3	粒 剤	インダン誘導体 10 % MCPB 0.8 %	同 上
33	S K H - 1 1	粒 剤	カーバメイト系化合物	シエル化学
34	C G 7-1 0 1	粒 剤	有機リン系化合物 7.5 %	日本チバガイギー
35	C G 7-1 0 2	粒 剤	有機リン系化合物 7.5 %	同 上
36	C G - 1 0 1	粒 剤	CG7101 6 % CG7103 1.5 %	同 上
37	C G - 1 0 2	粒 剤	CG7102 6 % CG7103 1.5 %	同 上
38	H Z - 1 4	粒 剤	フラン系化合物 6 %	メルク農業研究会 「エーメルク 大日本除虫 菊, 武田薬 品」
39	N C - 3 1 0	粒 剤	モリネート 6 % ニトラリン (SD11831) 2 % MCP-Na 0.8 %	日本カーバイド

Ⅰ－5. 移植本田一適用時期拡大（体係）

№	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委託会社
1	B－3015S	粒 剤	ベンチオカーブ 7% シメトリン 1.5%	クミアイ化学
2	NH－6967S	粒 剤	フェノビレート（NH6967） 5% シメトリン 1.5%	日 本 農 薬
3	NH－703	粒 剤	ベンチオカーブ 10% MCPB 0.7%	同 上
4	HOK－7505A	粒 剤	シメトリン 2.5% フェノチオール（HOK7501） 0.7%	北 興 化 学
5	トリフルラリン・ MCPAN	粒 剤	トリフルラリン 1.3% MCPAN 1.3%	石 原 産 業
6	SSH－23	粒 剤	トリフルラリン 1.4% MCPエチル 0.7%	シオノギ製薬
7	X－52	粒 剤	X－52 7%	X－52協議会
8	T O P E	粒 剤	メタトリル－4－ニトロフェニルエーテル 10%	三 洋 貿 易 東 京 有 機
9	N I P	粒 剤	NIP 7%	同 上
10	モリネートS	粒 剤	モリネート 6% シメトリン 1.5%	オルドラム研究会

Ⅱ－1. 稚苗移植－土壌混和处理

№	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委託会社
1	G－315	乳 剤	5－ターシヤリイブチル－3－（2,4－ジクロロ－5－イ ソプロピルオキシフェニル）1,3,4－オキサジアゾール－ 2－オン 12%	日 産 化 学
2	G－315	粒 剤	G－315 2%	同 上
3	B－3015	粒 剤	ベンチオカーブ 10%	クミアイ化学
4	BM－3015	粒 剤	ベンチオカーブ 7% CNP 6%	クミアイ化学 三井東圧化学
5	X－52	粒 剤	2,4－ジクロロフェニル－3'－メトキシ－4'－ニトロフェ ニルエーテル 7%	X－52協議会 （石原産業）
6	N I P	乳 剤	NIP 25%	三 洋 貿 易 東 京 有 機

Ⅱ－2. 稚苗移植－移植前後土壌処理

№	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委託会社
1	G－315	粒 剤	G－315 2%	日 産 化 学
2	B－3015	粒 剤	ベンチオカーブ 10%	クミアイ化学
3	BM－3015	粒 剤	ベンチオカーブ 7% CNP 6%	クミアイ化学 三井東圧化学
4	X－52	粒 剤	X－52 7%	X－52協議会
5	S－92	粒 剤	2,4－ジクロロ－4'－シアノジフェニルエーテル 15%	住 友 化 学
6	トリフルラリンA	粒 剤	トリフルラリン 3%	シオノギ製薬
7	ACN（モグトン）	粒 剤	2－アミノ－3－クロロナフトキノン 9%	兼 商
8	S S T－1	粒 剤	NIP 14% SK－23（新規化合物）}	三 洋 貿 易 東 京 有 機 昭 和 電 工

№	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委託会社
9	S S T - 3	粒 剤	SK-63 NIP 7 % 5 %	三 洋 貿 易 東 京 有 機
10	S S T - 4	粒 剤	SK-63 TOPE 7 % 6 %	同 上
11	N I P 5	粒 剤	NIP 5 %	東 京 有 機 三 洋 貿 易

Ⅱ - 3. 稚苗移植 - 移植後土壌処理 (ノビエ 1.5 葉以下)

№	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委託会社
1	G - 3 1 5	粒 剤	G-315 2 %	日 産 化 学
2	X - 5 2	粒 剤	X-52 7 %	X-52協議会
3	K H - 1 5 8	粒 剤	ACN (モゲトン) NIP 7.2 % 5.1 %	兼 商
4	T O P E	乳 剤	メタトリル-4-ニトロフェニルエーテル 2.5 %	東 京 有 機 三 洋 貿 易

Ⅱ - 4. 稚苗移植 - 茎葉兼土壌処理

№	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委託会社
1	B - 3 0 1 5 S	粒 剤	ベンチオカーブ シメトリン 7 % 1.5 %	クミアイ化学
2	X - 5 2 S	粒 剤	X-52 シメトリン 5 % 1.5 %	X-52協議会 (石原産業)
3	モリネート S	粒 剤	モリネート シメトリン 6 % 1.5 %	オールドラム研究会 「スタウファー トーマン, 三笠, 八洲」
4	ブタクロール S	粒 剤	ブタクロール シメトリン 4 % 1.3 %	ブタエース普及会 「三菱モンサ ント, 三共 日農」
5	DCPA・ベン チ オ カ ー ブ	粒 剤	DCPA ベンチオカーブ 1.7 % 7 %	クミアイ化学 保土谷化学
6	NH-6967・S	粒 剤	フエノビレート シメトリン 5 % 1.5 %	日 本 農 薬

Ⅱ - 5. 稚苗移植 - 適用時期拡大 (体系)

№	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委託会社
1	シメトリン 2.5	粒 剤	2-メチルチオ-4,6-ビス-エチルアミノ-S-トリ アジン 2.5 %	ギーボン普及会 (ガイギー)
2	プロメトリン・ MCPB	粒 剤	プロメトリン MCPB 1.5 % 1 %	日 本 化 薬
3	シメトリン・ MCPB	粒 剤	シメトリン MCPB 1.5 % 1 %	同 上
4	シメトリン・ MCPB 3.5	粒 剤 粒 剤	シメトリン MCPB 2.5 % 1 %	同 上
5	モリネート S	粒 剤	モリネート シメトリン 6 % 1.5 %	オールドラム研究会 「スタウファー トーマン, 三笠, 八洲」

№	薬 剤 名	剤 型	有効成分および含有率	委託会社
6	S S H - 2 3	粒 剤	トリフルラリン M C P エチル 1.4 % 0.7 %	シオノギ製薬
7	B - 3 0 1 5 B	粒 剤	ベンチオカーブ シメトリン 7 % 1.5 %	クミアイ化学
8	N I P	粒 剤	N I P 7 %	東京有機 三洋貿易
9	X - 5 2	粒 剤	X - 5 2 7 %	X - 5 2 協議会
10	NH-6967・S	粒 剤	フェノビレート シメトリン 5 % 1.5 %	日本農薬

Ⅱ-1. 苗代一水苗代

№	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委託会社
1	G - 3 1 5	乳 剤	G - 3 1 5 12 %	日産化学
2	B - 3 0 1 5	粒 剤	ベンチオカーブ 10 %	クミアイ化学
3	B - 3 0 1 5	乳 剤	ベンチオカーブ 50 %	同 上
4	T O P E	乳 粒	メタトリル-4-ニトロフェニルエーテル 25 %	東京有機 三洋貿易
5	ACN (モグトン)	粒 剤	2-アミノ-3-クロロナフトキノン 9 %	兼 商

Ⅱ-2. 苗代一保温折衷苗代

№	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委託会社
1	B - 3 0 1 5	乳 剤	ベンチオカーブ 50 %	クミアイ化学
2	モリネート	乳 剤	S-エチル-ヘキサヒドロ-1H-アゼピン-1-カーボ チオエート 70 %	オルドラム研究会
3	モリネート	粒 剤	同 上 8 %	同 上

Ⅱ-3. 苗代一畑苗代

№	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委託会社
1	B - 3 0 1 5	乳 剤	ベンチオカーブ 50 %	クミアイ化学
2	D C P A (改 良)	乳 剤	3,4-ジクロロプロピオンアニリド 20 %	武田薬品
3	D C - 5 5	乳 剤	4-ターシャリイ-ブチル-2,6-ジメチル-3,5-ジニ トロアセトフェノン 20 %	大日本インキ 武田薬品 三笠化学 八洲化学
4	T O P E	乳 剤	メタトリル-4-ニトロフェニルエーテル 25 %	東京有機 三洋貿易

Ⅳ 満水直播

№	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委託会社
1	G - 3 1 5	乳 剤	G - 3 1 5 12 %	日産化学
2	S S T - 1	粒 剤	N I P S K - 2 3 14 %	三洋貿易 東京有機 昭和電工
3	B - 3 0 1 5	粒 剤	ベンチオカーブ 10 %	クミアイ化学
4	B - 3 0 1 5	乳 剤	ベンチオカーブ 50 %	同 上
5	X - 5 2	粒 剤	2,4-ジクロロフェニル-3'-メトキシ-4'-ニトロフェ ニルエーテル 7 %	X - 5 2 協議会 (石原産業)

№	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委託会社
6	モ リ ネ ー ト	粒 剤	S-エチルヘキサヒドロ-1H-アゼピン-1-カーボ チオエート 8 %	オルドラム研究会 〔スタウファー トーマン, 八洲, 三笠〕
7	T O P E	乳 剤	メタトリル-4-ニトロフェニルエーテル 25 %	東 京 有 機 三 洋 貿 易
8	D C P A ・ ベンチオカーブ	粒 剤	DCPA 17 % ベンチオカーブ 7 %	クミアイ化学 保 土 谷 化 学
9	D M N P ・ ベンチオカーブ	乳 剤	DMNP 3,5-ジメチル-4'-ニトロジフェニルエー テル 20 % ベンチオカーブ 20 %	保 土 谷 化 学
10	B M - 3 0 1 5	粒 剤	ベンチオカーブ 7 % CNP 6 %	クミアイ化学 三井東圧化学
11	B - 3 0 1 5 S	粒 剤	ベンチオカーブ 7 % シメトリン 1.5 %	クミアイ化学

V 乾田直播

№	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委託会社
1	G - 3 1 5	水和剤	G-315 50 %	日 産 化 学
2	アミプロホス	乳 剤	O-エチル-O-(2-ニトロ-4-メチルフェニル)- N-イソプロピルチオノフオスホロアミデート 50 %	日本特殊農薬
3	B - 3 0 1 5	乳 剤	ベンチオカーブ 50 %	クミアイ化学
4	B - 3 0 1 5 プロメトリン	乳 剤	ベンチオカーブ 50 % プロメトリン 5 %	クミアイ化学 日 本 化 薬
5	X - 5 2	水和剤	2,4-ジクロロフェニル-3'-メトキシ-4'-ニトロフェ ニルエーテル 40 %	X-52協議会 (石原産業)
6	SAP乳十 X-52水和	—	SAP: 0.0-ジイソプロピル-2-(ベンゼンスルホン アミド)エチレジチオホスフエート 50 % X-52 40 %	日 本 農 薬
7	モ リ ネ ー ト	乳 剤	S-エチルヘキサヒドロ-1H-アゼピン-1-カーボ チオエート 70 %	オルドラム研究会 〔スタウファー トーマン, 三笠, 八洲〕
8	M O - 9	粒 剤	CNP 9 %	三井東圧化学
9	B - 3 0 1 5 S	粒 剤	ベンチオカーブ 7 % シメトリン 1.5 %	クミアイ化学
10	B M - 3 0 1 5	粒 剤	ベンチオカーブ 7 % CNP 6 %	クミアイ化学 三井東圧化学
11	モ リ ネ ー ト S	粒 剤	モリネート 6 % シメトリン 1.5 %	オルドラム研究会
12	D C P A 改良	乳 剤	3,4-ジクロロプロピオンアニリド 20 %	武 田 薬 品
13	N I P	乳 剤	NIP 25 %	東 京 有 機 三 洋 貿 易

VI 畦畔雑草

№	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委託会社
1	A T A ・ D C M U	水和剤	A T A : 3-アミノ-1,2,4-トリアゾール 37.5 % DCMU : 3-(3,4-ジクロロフェニル)-1,1-ジメ チルウレア 37.5 %	石 原 産 業 丸 和 物 産

№	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委託会社
2	D P A ・ M C P ・ D C M U	水和剤	D P A (2,2-ジクロロプロピオン酸ナトリウム 4 5 % M C P 1 5 % D C M U 1 5 %	石 原 産 業
3	D C M U	水和剤	2- (3,4-ジクロロフェニル) - 1,1-ジメチル尿素 7 8.5 %	デユボン フアーイースト
4	塩 素 酸 ソ ー ダ	水溶剤	N a C l O ₃ 9 8.5 %	昭 和 電 工
5	D P A	水溶剤	D P A 8 5 %	ダウボン研究会
6	D P A ・ D C M U	水和剤	D P A 5 6.2 % D C M U 1 8.8 %	石 原 産 業

Ⅶ 休 耕 田

№	薬 剤 名	剤 型	有効成分および成分含有率	委託会社
1	A T A ・ D C M U	水溶剤	A T A 3 7.5 % D C M U 3 7.5 %	石 原 産 業 丸 和 物 産
2	D P A ・ D C M U	水和剤	D P A 5 6.2 % D C M U 1 8.8 %	石 原 産 業
3	D P A ・ M C P D C M U	水和剤	D P A 4 5 % M C P 1 5 % D C M U 1 5 %	同 上
4	2, 4 P A A T A	水溶剤	2, 4 P A 6 0 % A T A 2 8 %	2, 4 - D 協議会 (石原, 日産)
5	2, 4 P A ・ A T A ・ D P A	水溶剤	2, 4 P A 2 7 % A T A 1 7 % D P A 4 1 %	同 上
6	D C M U	水和剤	D C M U 7 8.5 %	デユボン・ フアーイースト
7	塩 素 酸 ソ ー ダ	粉 剤	N a C l O ₃ 7 0 %	昭 和 電 工
8	塩 素 酸 ソ ー ダ	水溶剤	同 上 9 8.5 %	同 上
9	D C B N	粒 剤	D C B N 3 %	日本カーバイド
10	P C P ・ M C P ・ D C B N	粒 剤	P C P - C a 3.0 % M C P - N a 0.8 % D C B N 0.7 5 %	トリサイト普及会 〔 日本カーバ イド, 北興 中外 〕
11	N C - 3 0 5	水和剤	A T A 5 6 % D C M U 2 7 %	日本カーバイド

＜第2表＞ 昭和46年度水稻作関係除草剤実用化判定表

	実	実・継	継 続	継 続 ?	中 止
I-1. 移植土壌混和		G-315 乳 G-315 粒 B-3015 粒 BM-3015 粒	HIP 乳 X-52 粒 X52化成肥料		
耕起前—茎葉	パラコート 液 (ミズガヤツリ)		パラコート 液 (マツバイ)		
I-2. 移植本田—移植前後	B-3015 粒 トリフルラリンA粒	B-3015 粒 (ミズガヤツリ) BM-3015 粒 G-315 粒 X-52 粒 ブタクロール2.5 粒 MO-18 粒	KH-158 粒 SST-1 粒 ブタクロール50 粒		NIP12 粒
I-3. 移植本田—移植後土壌	B-3015 粒 BM-3015 粒 X-52 粒 KH-159 粒 シメトリン・MCPB 粒 YK-4876 粒 トリフルラリンA 粒 CNP・MPP 粒	G-315 粒 G-315B 粒 MT-203Z 粒 MT-303Z 粒 KH-159 粒 (ウリカワ) KH-158 粒 ブタクロール5.0 粒 TH-62M 粒	モリネートA 粒 S-92 粒 HZ-14 粒 KW-10 粒 SST-1 粒 SST-2 粒 HW-72 粒 HW-82 粒	TOC-604 粒 HW-62 粒	KH-159 粒 (ホタルイ)
I-4. 移植本田—茎葉兼土壌	B-3015S 粒 NH-6967S 粒 CP-19H 粒 シメトリン・MCPB3.5 粒	NH-703 粒 MCC・MCPB 粒 ブタクロールS 粒 アミプロホスS 粒 X-52S 粒 X-52B 粒 モリネートS 粒 モリネートSM 粒 モリネートM 粒 モリネートS 粒 ・ダイアジノン 粒 DCPA・ベン 粒 チオカーブ 粒 TH-62D 粒	NH-6967S 粒 ・MCPB 粒 ブタクロール 粒 アミプロホス 粒 ・MCPB 粒 MT-303Z 粒 モリネートS20 粒 S-59M 粒 OK-702 粒 OK-703 粒 CG-101 粒 CG-102 粒 HZ-14 粒 NC-310 粒	X-52T 粒 TH-62M 粒 JX-88 粒 ベンゾマルク 粒 SKH-11 粒	X-52 粒
I-5. 移植適用拡大(体系)		B-3015S 粒 NH-6967S 粒 NH-703 粒 HOK-7505A 粒 トリフルラリン・MCPAN 粒 SSH-23 粒 モリネートS 粒	X-52 粒 TOPE 粒 NIP 粒		

	実	実・継	継 続	継 続 ?	中 止
Ⅱ-1. 稚苗土壌混和		G-315 乳 G-315 粒 G-315B 乳 B-3015 粒	X-52 粒	NIP 乳	
Ⅱ-2. 稚苗移植前 後		G-315 粒 B-3015 粒 BM-3015 粒 X-52 粒	S-92 粒 ACN 粒 SST-1 粒 SST-3 粒 SST-4 粒	NIP-5 粒	トリフルラリンA 粒
Ⅱ-3. 稚苗移植後土壌		G-315 粒 X-52 粒 TOPE 乳 (点置)	KH-158 粒		
Ⅱ-4. 稚茎葉移植土 壤		B-3015S 粒 モリネートS 粒 ブタクロールS 粒 DCPA・ベン チオカーブ 粒	X-52S 粒		
Ⅱ-5. 稚適苗用 移植期 拡大		シメトリン2.5 粒 シメトリン 粒 ・MCPB 粒 モリネートS 粒 B-3015S 粒 NH-6967S 粒	プロメトリン 粒 ・MCPB 粒 シメトリン・MC 粒 PB3.5 粒 SSH-23 粒 NIP 粒	X-52 粒	
Ⅲ-1. 苗水代苗 1代		TOPE 乳 (点置) ACN 粒 (モ類)	G-315 乳 B-3015 粒 B-3015 乳		
Ⅲ-2. 苗保裏代温苗 折代			B-3015 乳 モリネート 乳 モリネート 粒		
Ⅲ-3. 苗畑代苗 1代	B-3015 乳 DCPA改良 乳 TOPE 乳	DC-55 乳			
Ⅳ 湛水直播		B-3015 粒 B-3015 乳 モリネート 粒 DCPA・ベン チオカーブ 粒 B-3015 粒	G-315 乳 X-52 粒 TOPE 乳 (点置) DMNP・ベン チオカーブ 乳 B-3015S 粒		SST-1 粒

	実	実・継	継 続	継 続 ?	中 止
V 乾 田 直 播	MO-9 粒 B-3015S 粒 BM-3015 粒	アミプロホス 乳 B-3015 乳 [B-3015・ブ ロメトリン 乳 DCPA改良 乳	G-315 水和 X-52 水和 [SAP 乳 +X-52 水和 モリネートX 乳 モリネートS 粒		
刈 畦 畔 雑 草	ATA・DCMU水和	[DPA・MCP・水和 DCMU 水和 DCMU 水和 DPA 水和 DPA・DCMU水和		塩素酸ソーダ水溶	
畝 休 耕 田	ATA・DCMU水和 [PCP・MCP 粒 ・DCBN		DPA・DCMU水和 [2,4PA・ATA 水溶 ・DPA 水和 DCMU 水和 塩素酸ソーダ 粉 塩素酸ソーダ 水溶 DCBN 粒 NC-305 水和		2,4PA・ATA水溶

〔その他作用特性の解明〕

I 移植栽培本田

I-1 土壌混和

G-315乳, B-3015粒, BM-3015粒, NIP乳, X-52粒, パラコート液(マツバイ, ミズギャツリ)

I-2 移植前後

B-3015粒, G-315粒, X-52粒, SST-1粒, SST-2粒, SST-3粒, SST-4粒, ブタクロール2.5粒, ブタクロール5.0粒, X-52B粒, MO-18粒, NK-15286水和, NK-16049水和

I-3 移植後土壌

モリネートA粒, YK-4876粒, S-92粒, S-59D粒, S-71乳, S-80乳, S-65K粒, HZ-14粒, KW-10粒, SK-23水和, SK-63水和, SST-1粒, HW-72乳, HW-72粒, HW-82粒, HW-62粒, Dowco 273粒, Dowco 221+K粒, NC-23水和, NC-24水和, NC-25粒, NC-26粒, NC-27粒, NC28粒, HOE-2710粒

I-4 茎葉兼土壌

NH-6967S・MCPB粒, X-52粒, X-52B粒, X-52T粒, *モリネートS粒, モリネートS20粒, モリネートSM粒, *DCPA・ベンチオカーブ粒, *TH-62粒, *TH-62D粒, *TH-62M, ▲S-59M粒, A-1404水和, J-88乳, JX-88粒, Benzomarc粒, OK-701粒, OK-702粒, OK-703粒, SKH-11粒, °CG-7101水和, °CG-7102水和, °CG-7103水和, CG-101粒, CG-102粒, アミプロホスS粒, アミプロホスMCPB粒, MT-303Z粒

Ⅱ 稚苗移植

Ⅱ-1 土壌混和

* G-315B乳

Ⅱ-2 移植前後

* B-3015粒, BM-3015粒, SST-3粒, SST-4粒

Ⅱ-3 移植後土壌

TH-62M粒

Ⅱ-4 茎葉兼土壌

* B-3015S粒, NH6967S粒

Ⅲ 苗代

* モリネート乳, * DCPA(改良)乳

Ⅳ 湛水直播

B-3015粒, B-3015乳, X-52粒, モリネート粒

Ⅴ 乾田直播

B-3015乳

Ⅵ 畦畔

DPA水溶

* 要因解析 • 作A ▲作B, 要因解析

＜第3表＞ 昭和46年度水稻実用化除草剤使用基準一覧表

	薬剤名	処理法	処理時期	使用量 (製品g/a)	適用土壌	適用地帯	使用上の注意
Ⅰ-1. 移植本田 土壌混和	G-315乳剤	土壌混和	植代時～植代直後 〔田植前〕 〔1～3日〕	50～66 (6～8)	砂壤土～埴土 〔極端な漏水田は除く〕 〔黒色火山土壌は除く〕	普通期全域 および温暖地の早期栽培	1.混和時水深3～5cm 2.混和深度2～3cm
	G-315粒剤	土壌混和	植代時 〔田植前〕 〔1～3日〕	300～400	砂壤土～埴土 〔極端な漏水田は除く〕	寒冷地以西普通期	1.混和時水深3～5cm 2.混和深度2～3cm
	B-3015粒剤	土壌混和	植代時 〔田植前〕 〔1～3日〕	400～600	砂壤土～埴土 〔極端な漏水田は除く〕	寒冷地以西普通期	1.コナギ多発地での使用さける 2.混和時水深3～5cm 3.混和深2～3cm
	BM-3015粒剤	土壌混和	植代時 〔田植前〕 〔1～3日〕	400～600	砂壤土～埴土 〔極端な漏水田は除く〕	普通期全域	1.コナギ多発地は使用さける 2.混和時水深3～5cm 3.混和深度2～3cm 4.田植後極端な深水さける

※ シメトリン, シメトリン混合剤の使用上の注意

温暖地以西, とくに, 暖地では散布時が高温(30℃)である場合, または処理後, 数日以内に梅雨が明けると, 気温が急激に上昇する(最高気温がおよそ30℃)ので, 薬害発生の危険性が大きくなる。これらに, とくに, 左記の条件が重なった場合には, 危険性が一層大きくなるので, そのような条件下では, 使用をさける。

- 1) 水稻の条件 ① 軟弱苗 ② 苗の活着が不充分なとき
- 2) 水田の条件 ① 砂質の土壌 ② 漏水の大きい水田および透水不良田 ③ 強選元田および未熟有機物多用田 ④ 天水田
- 3) 水管理 ① 2cm程度以下の浅水および7～8cm以上の深水 ② 整地が不均平な水田

	薬 剤 名	処 理 法	処 理 時 期	使 用 量 (製品g/a)	適 用 土 壌	適 用 地 帯	使用上の注意
耕起前 ― 茎 葉	パラコート(ミズガヤツリ)液	茎 葉 処 理	発生盛期～ 発生終期	300～400cc	全 土 壌	温暖地以西 田植前のミズガヤツリ が発生揃に なる 一毛作田	1.散布後5～6日 以上たって耕起 代掻する 2.処理時完全落水 3.発生揃後に散布 する
I-2. 移 植 本 田 ― 移 植 前 後	B-3015粒剤	土 壌	田植前3日 ～田植後3 日 〔ノビエ1. 0Lまで〕	300～400	砂 壤 土 ～ 埴 土 〔極端な漏水田を 除く〕	全 域 普通期栽培 早期栽培	
	B-3015(ミズガヤツリ)粒 剤	土 壌	田植前後 〔ミズガヤ ツリの出 芽前〕	400～500	砂 壤 土 ～ 埴 土 〔極端な漏水田を 除く〕	寒冷地以西 普通期栽培 早期栽培	代掻き後出芽のミズ ガヤツリを対象 とする
	BM-3015 粒剤	土 壌	田植前3日 ～田植後3 日	300～400	砂 壤 土 ～ 埴 土 〔極端な漏水田は 除く〕	寒冷地以西 普通期栽培 早期栽培	
	G-315粒剤	土 壌	植代～ 田植前1日	300～400	砂 壤 土 ～ 埴 土 〔極端な漏水田を 除く〕	普通期全域	
	X-52粒剤	土 壌	田植前3日 ～田植後3 日 〔ヒエ1.0 L以内〕	300～400	砂 壤 土 ～ 埴 土 〔極端な漏水田を 除く〕	全 域 普 通 期 〔温暖地早 期栽培含 む〕	1.健苗を使用する こと
	トリフルラン A粒剤	土 壌	田植前3日 ～田植後7 日 〔ヒエ1.0 Lまで〕	300～400	砂 壤 土 ～ 埴 土 〔極端な漏水田を 除く〕	普通期全域 〔カヤツリ グサ, マ ツバイ多 発地帯は 除く〕	
	ブタクロール 2.5粒剤	土 壌	田植前3日 ～田植後3 日	300	埴 土 ～ 埴 土 〔減水深2cm/日 以下〕	寒冷地以西 普 通 期	1.広葉, 雑草多発 田はさける 2.健苗使用田に使用 する
	MO-18粒剤	土 壌	田植前3日 ～田植後3 日	300	埴 土 ～ 埴 土 〔極端な漏水田を 除く〕	寒冷地以西	
I-3. 移 植 本 田 移 ― 植 後 土 壌	B-3015粒剤	土 壌	田植後4日 ～田植後1 0日	300～400	砂 壤 土 ～ 埴 土 〔極端な漏水田を 除く〕	普通期全域 早期栽培	
	BM-3015 粒剤	土 壌	田植後4日 ～田植後1 0日 〔ノビエ1. 5Lまで〕	300～400	砂 壤 土 ～ 埴 土 〔極端な漏水田を 除く〕	全域の普通 期 早期栽培	

	薬 剤 名	処 理 法	処 理 時 期	使用 量 (製品 g/a)	適 用 土 壌	適用地帯	使用上の注意
I-3. 移 植 本 田 移 植 後 土 壌 (つづき)	G-315 粒剤	土 壌	田植後 3 日 ～ 7 日 〔ノビエ 1. 0 L まで〕	300	砂 壤 土 ～ 埴 土 〔極端な漏水田を 除く〕	普 通 期 全 域	
	G-315B 粒剤	土 壌	田植後 4 ～ 8 日 〔ヒエ 1.0 L まで〕	300	埴 土 ～ 埴 土 〔減水深 2 cm/日 以下〕	普 通 期 全 域	
	MT-203Z 粒剤	土 壌	田植後 4 ～ 8 日 〔ヒエ 1.0 L まで〕	300～400	埴 土 ～ 埴 土 〔極端な漏水田を 除く〕	温暖地以西 普 通 期	
	MT-303Z 粒剤	土 壌	田植後 4 ～ 8 日 〔ヒエ 1.0 L まで〕	300～400	埴 土 ～ 埴 土 〔極端な漏水田を 除く〕	温暖地以西 普 通 期	
	X-52 粒剤	土 壌	田植後 4 ～ 8 日 〔ヒエ 1.0 L まで〕	300～400	砂 壤 土 ～ 埴 土 〔極端な漏水田を 除く〕	普 通 期 早期栽培	健苗を使用すること
	KH-159 粒剤	土 壌	田植後 4 ～ 7 日 〔ノビエ 1. 0 L まで〕	300～400	埴 土 ～ 埴 土 〔減水深 2 cm/日 以下〕	寒地除く全 域 普通期栽培	1.苗が軟弱に育った時や低温時の使用はさける 2.異常高温時の使用はさける 3.深水での使用はさける
	KH-159 (ウリカワ) 粒剤	土 壌	田植後 4 日 ～ 7 日 〔ウリカワ 発生始〕	300～400	埴 土 ～ 埴 土 〔減水深 2 cm/日 以下〕	温 暖 地 中部以西	1.苗が軟弱に育った時や低温時での使用はさける 2.異状高温時の使用はさける。 3.深水での使用はさける
	KH-158 粒剤	土 壌	田植後 4 日 ～ 7 日 〔ノビエ 1. 0 L まで〕	300～400	埴 土 ～ 埴 土 〔極端な漏水田を 除く〕	温 暖 地 中部以西	
	ブタクロール 5.0 粒剤	土 壌	田植後 4 日 ～ 10 日 〔ノビエ 1. 5 L まで〕	300	砂 壤 土 ～ 埴 土 〔減水深 2 cm/日 以下〕	普通期全域 早期栽培	1.広葉の多い地帯でははやめに使用する
	シメトリン・ MCPB 粒剤	土 壌	田植後 5 日 ～ 13 日 〔ノビエ 2. 0 L まで〕	300～400	埴 土 ～ 埴 土 (2 cm/日以下)	温 暖 地 普 通 期	※

	薬剤名	処理法	処理時期	使用量 (製品g/a)	適用土壌	適用地帯	使用上の注意
I-3. 移植 本田 ↓ 移植後 土壌 (つづき)	YK-4876 粒剤	土壌	田植後4日 ～8日 〔ノビエ1. 0Lまで〕	300～400	壤土～埴土 〔極端な漏水田を 除く〕	寒冷地以西 イネ科、カ ヤツリグサ の優せんす る圃場	広葉、マツバイに は効果がない
	トリフルラリンA 粒剤	土壌	田植後4日 ～7日 〔ノビエ1. 0Lまで〕	300～400	砂壤土～埴土 〔極端な漏水田は 深く〕	普通期全域 カヤツリ グサ、マ ツバイ多 発地帯を 除く	
	TH-62M 粒剤	土壌	田植後4日 ～8日 〔ノビエ1. 0Lまで〕	300～400	壤土～埴土 〔減水深2cm/日 以下〕	温暖地 普通期	
	CNP・MPP 粒剤	土壌	田植前3日 ～後6日	300～400	壤土～埴土 〔極端な漏水田を 除く〕	CNPとM PPの使用 時期が合致 した地域	CNP粒剤に準ず る
I-4. 移植 本田 ↓ 茎葉兼 土壌	B-3015S 粒剤	茎葉兼土壌	田植後7日 ～15日 〔ノビエ2. 5Lまで 但し寒冷 地は2.0 Lまで〕	300～400	砂壤土～埴土 〔極端な漏水田を 除く〕	普通期栽培 早期栽培全 域	※
	NH-6967S 粒剤	茎葉兼土壌	田植後7日 ～12日 〔ノビエ2. 0Lまで〕	300	壤土～埴土 〔極端な減水深の 大きい水田を除 く〕	寒地を除く 全域の普通 期(温暖地 の早期栽培 含む)	※
	NH-703 粒剤	茎葉兼土壌	田植後7日 ～12日 〔ノビエ2. 0Lまで〕	300	砂壤土～埴土 〔減水深2cm/日 以下〕	寒冷地以西 普通期	
	MCC・MCPB 粒剤	茎葉兼土壌	田植後10 日～12日 〔ノビエ2. 0Lまで〕	300	砂壤土～埴土 (2cm/日以下)	寒地および 寒冷地北部	
	ブタクロールS 粒剤	茎葉兼土壌	田植後7日 ～15日 〔ノビエ2. 5Lまで 但し寒地 寒冷地2. 0Lまで〕	300～400	砂壤土～埴土 〔減水深2cm/日 以下〕	全 域 普通期栽培 早期栽培	※
	CP-19H 粒剤	茎葉・土壌	田植後7日 ～12日 〔ヒエ2.0 Lまで〕	300	壤土～埴土 (2cm/日以下)	寒冷地以西 普通期 (暖地除く)	

	薬 剤 名	処 理 法	処 理 時 期	使用量 (製品g/a)	適 用 土 壌	適用地帯	使用上の注意
I-4. 移 植 本 田 ↓ 茎 葉 兼 土 壌 (つづき)	アミプロロスS 粒剤	茎葉兼土壌	田植後7日 ～12日 〔ノビエ2〕 〔Lまで〕	300～400	壤土～埴土 〔極端な漏水田を 除く〕	寒冷地以西 の普通期 (温暖地の 早期栽培を 含む)	※
	X-52S粒剤	茎葉兼土壌	田植後8日 ～12日 〔ノビエ2〕 〔0Lまで〕	300～400	壤土～埴土 (3cm/日以下)	普通期 全 域	※
	X-52B粒剤	茎葉兼土壌	田植後5日 ～12日 〔ノビエ2〕 〔0Lまで〕	300～400	砂壤土～埴土 〔減水深2cm/日〕 以下	全 域 普通期 早 期	
	モリネートS 粒剤	茎葉兼土壌	田植後7日 ～15日 〔ノビエ2〕 〔5Lまで〕	300～400	砂壤土～埴土 〔極端な漏水田を 除く〕	寒冷地以西 早期・普通 期栽培	※ 広葉の多発地の 場合は早目に処 理する
	モリネートSM 粒剤	茎葉兼土壌	田植後10 日～15日 〔ノビエ2〕 〔5Lまで〕	300～400	壤土～埴土 〔減水深2cm/日〕 以下	寒冷地南部 および温暖 地の普通期	※
	モリネートM 粒剤	茎葉兼土壌	田植後7日 ～15日 〔ノビエ2〕 〔5Lまで〕	300～400	壤土～埴土 〔減水深2cm/日〕 以下	温 暖 地 中・西部の 普通期	1.広葉多発地は除 く
	モリネートS・ ダイアジノン粒	茎葉兼土壌	田植後7日 ～15日 〔ノビエ2〕 〔5Lまで〕	300～400	砂壤土～埴土 〔極端な漏水田を 除く〕	温暖地以西 の早期・普 通期でダイ アジノンが 適応出来る 地帯	※ 広葉多発地帯で は使用時期早め る
	DCPA・ ベンチオカーブ粒	茎葉兼土壌	田植後7日 ～15日 〔ノビエ2〕 〔5Lまで〕	300～400	砂壤土～埴土 〔極端な漏水田を 除く〕	寒冷地以西 の普通期	1.有機リン剤,カ ーバメート系殺 虫剤との近接散 布をさける 2.苗代で同上薬剤 を土壌処理した 苗使用の場合は 使用をさける 3.湛水深やや深め にして処理する
	TH-62D粒	茎葉兼土壌	田植後7日 ～12日 〔ノビエ2〕 〔0Lまで〕	300～400	壤土～埴土 〔減水深2cm/日〕 以下	寒冷地・温 暖地の普通 期	1.高温条件下での 使用は充分注意 2.健苗使用田に使用 する 3.マツバイ多発地 は除く

	薬 剤 名	処 理 法	処 理 時 期	使 用 量 (製品g/a)	適 用 土 壤	適用地帯	使用上の注意
I-4.	シメトリン・ MCP 3.5 粒	茎葉兼土壤	田植後7日 ～12日 〔ノビエ2.0 Lまで〕	300～400 +10まで300 +10以降400	壤土～埴土 〔減水深2cm/日 以下〕	寒 冷 地 温 暖 地 普 通 期	小苗・軟弱苗の場 合は処理時の深水 をさける ※
I-5. 移 植 本 田 ↓ 適 用 拡 大 (体 系)	B-3015S 粒	茎葉兼土壤	田植前後の 土壤処理を した場合2 5日まで 〔ノビエ2. 0Lまで〕	300	砂壤土～埴土 〔極端な漏水田を 除く〕	寒 地 寒冷地北部	※
	NH-6967S 粒	茎葉兼土壤	田植前後の 土壤処理を した場合+ 15～25 日頃迄 〔ノビエ2. 0Lまで〕	300～400	壤土～埴土 〔極端な漏水田を 除く〕	寒冷地北部	※
	NH-703 粒	茎葉兼土壤	田植前後の 土壤処理を した場合+ 15～25 日まで 〔ノビエ2. 0Lまで〕	300～400	砂壤土～埴土 〔減水深2cm/日 以下〕	寒冷地北部	
	HOK-7505A 粒	茎葉兼土壤	田植前後の 土壤処理を した場合+ 15～25 日まで 〔ノビエ2. 0Lまで〕	300～400	壤土～埴土 〔減水深2cm/日 以下〕	寒 冷 地	
	トリフルリン・ MCPAN 粒	茎葉兼土壤	田植前後の 土壤処理を した場合+ 15～20 日頃まで 〔ノビエ1. 0Lまで〕	300～400	壤土～埴土 〔減水深2cm/日 以下〕	寒地・寒冷 地	
	SSH-23 粒	茎葉兼土壤	田植前後の 土壤処理を した場合+ 15～+2 0頃まで 〔ノビエ1. 0Lまで〕	300～400	壤土～埴土 〔3cm/日以下〕	寒冷地 温 暖地東部の 普通期	※
	モリネートS 粒	茎葉兼土壤	田植前後の 土壤処理を した場合+ 25日頃ま で 〔2.5Lま で〕	300～400	砂壤土～埴土 〔極端な漏水田を 除く〕	寒 冷 地 温暖地東部 の普通期	※

	薬剤名	処理法	処理時期	使用量 (製品g/a)	適用土壌	適用地帯	使用上の注意
Ⅱ-1. 稚苗移植 土壌混和	G-315乳	土壌混和	植代時 田植前 1～3日	50	壤土～埴土 〔極端な漏水田を 除く〕	寒冷地以西 普通期(温暖地東部 早期含む)	1.混和時水深3～ 5cm 2.混和深2～3cm 3.マツバイ多発地 除く
	G-315粒	土壌混和	植代時 田植前 1～3日	300～400	壤土～埴土 〔極端な漏水田を 除く〕	寒冷地以西 普通期(温暖地東部 早期含む)	1.混和時水深3～ 5cm 2.混和深2～3cm 3.マツバイ多発地 除く
	G-315B乳	土壌混和	植代時 田植前 1～3日	50	壤土～埴土 〔減水深2cm/日 以下〕	寒冷地以西 の普通期	1.混和時水深3～ 5cm 2.混和深2～3cm
	B-3015粒	土壌混和	植代時 田植前 1～3日	400～600	砂壤土～埴土 〔極端な漏水田を 除く〕	寒冷地以西 の普通期	1.混和時水深3～ 5cm 2.混和深2～3cm 3.コナギ多発地を 除く
	BM-3015粒	土壌混和	植代時 田植前 1～3日	400～600	砂壤土～埴土 〔極端な漏水田を 除く〕	寒冷地以西 の普通期	1.混和時水深3～ 5cm 2.混和深2～3cm 3.コナギ多発地を 除く
Ⅱ-2. 稚苗移植 移植前後土壌	G-315粒	土壌	植代～ 田植前1日	300～400	壤土～埴土 〔極端な漏水田を 除く〕	寒地 寒冷地北部	
	B-3015粒	土壌	田植前4日 ～田植後1 0日 〔ノビエ1. 5Lまで〕	300～400	砂壤土～埴土 〔極端な漏水田を 除く〕	寒地を除く 全域 普通期(温暖地東部 早期含む)	
	BM-3015粒	土壌	田植前4日 ～田植後1 0日 〔ノビエ1. 5Lまで〕	300～400	砂壤土～埴土 〔極端な漏水田を 除く〕	寒地を除く 全域の普通 期(温暖地東部 早期含む)	
	X-52粒	土壌	田植前3日 ～田植後3 日	300	砂壤土～埴土 〔極端な漏水田を 除く〕	全域の普通 期	
Ⅱ-3. 稚苗移 移植後土壌	G-315粒	土壌	田植後5～ 7日 〔ノビエ1. 0Lまで〕	300	壤土～埴土 〔極端な漏水田を 除く〕	全域の普通 期(温暖地東部 早期含む)	
	X-52粒	土壌	田植後4日 ～8日 〔ノビエ1. 0Lまで〕	300	砂壤土～埴土 〔極端な漏水田を 除く〕	全域の普通 期(温暖地東部 早期含む)	

	薬剤名	処理法	処理時間	使用量 (製品g/a)	適用土壌	適用地帯	使用上の注意
(つぎ)	TOPE(点置)乳	土壌	田植当日～10日 〔ノビエ1. 5Lまで〕	120～200 cc/a	砂壌土～埴土 〔極端な漏水田を 除く〕	寒地除く全 域の普通期 (温暖地東 部の早期を 含む)	湛水深を適度に保 つ
Ⅱ-4. 稚苗移植 ― 茎葉兼土壌	B-3015S粒	茎葉兼土壌	田植後8日 ～15日 〔ノビエ2. 5Lまで 但し寒地 寒冷地2 Lまで〕	300	壤土～埴土 〔極端な漏水田を 除く〕	全 域 (温暖地東 部の早期・ 普通期を含 む)	※
	モリネートS粒	茎葉兼土壌	田植後8日 ～15日 〔ノビエ2. 5Lまで〕	300～400	砂壌土～埴土 〔極端な漏水田を 除く〕	寒冷地・温 暖地の普通 期(温暖地 東部の早期 含む)	※ 広葉の多発地では 早目に処理
	ブタクロールS粒	茎葉兼土壌	田植後8日 ～12日 〔ノビエ2. 0Lまで〕	300～400	壤土～埴土 〔減水深2cm/日 以下〕	暖地除く全 域の普通期 (温暖地東 部の早期含 む)	※
	DCPA・ ベンチオカブ粒	茎葉・土壌	田植後10 日～15日 〔ノビエ2. 5Lまで〕	300～400	壤土～埴土 〔極端な漏水田を 除く〕	温暖地以西 の普通期	1.有機リン、カー バメート系殺虫 剤との近接散布 をさける 2.育苗期に同上薬 剤土壌処理した 場合使用しない 3.湛水深はやや深 目にする
Ⅱ-5. 稚苗移植 ― 適用時期拡大 (体系)	シメトリン2.5粒	茎葉・土壌	田植前後の 土壌処理をした場合田 植後20日 ～25日頃 〔ノビエ2. 0Lまで〕	300	壤土～埴土 〔極端な漏水田を 除く〕	寒 冷 地 温暖地東部 の普通期	※
	シメトリン・ MCPB粒	茎葉・土壌	田植前後土 壌処理した 場合、田植 後20～2 5日頃 〔ノビエ2. 0Lまで〕	300	壤土～埴土 〔漏水深2cm/日 以下〕	温暖地西部 の普通期	※
	モリネートS粒	茎葉・土壌	田植前後土 壌処理した 場合田植後 20～25 日頃まで 〔ノビエ2. 0Lまで〕	300～400	壤土～埴土 〔極端な漏水田を 除く〕	寒冷地・温 暖地・普通 期(温暖地東 部早期含 む)	※

	薬 剤 名	処 理 法	処 理 時 期	使 用 量 (製品g/a)	適 用 土 壤	適 用 地 帯	使 用 上 の 注 意
Ⅱ-5. 稚苗移植—適用時期(体系) (つづき)	B-3015S 粒	茎葉兼土壤	田植前後の 土壤処理を した場合、 田植後25 日頃まで 〔ノビエ2. 0Lまで〕	300	壤土～埴土 〔極端な漏水田を 除く〕	寒地・寒冷 地	※
	NH6967S 粒	茎葉兼土壤	田植後土壤 処理した場 合田植後2 0日～25 日頃まで 〔ノビエ2. 0Lまで〕	300	壤土～埴土 〔極端な漏水田を 除く〕	寒冷地北部	※
Ⅲ-1. 苗代—水苗代	TOPE(点置) 乳	茎葉・土壤	播種後10～ 16日 〔ノビエ1 ～2L〕	160～200 cc/a	壤土～埴土 〔極端な漏水田を 除く〕	温 暖 地	
	ACN(モグトン) 粒 (モ 類)	茎 葉	モ類発生始 ～成期 〔イネ4L 以降〕	200～300	砂 壤 土～埴土 〔極端な漏水田を 除く〕	全 域	1.極端深水さける 2.処理後2～3日 そのままにして おく
Ⅲ-3. 苗代—畑苗代	B-3015乳	土 壤	播種直後 ～2日	60～80 cc/a	砂 壤 土～埴土	全 域	
	DCPA改良乳	茎 葉	ノビエ2.0 ～2.5L	100～200 cc/a	全 土 壤	全 域	DCPA乳に準ず る
	DC-55乳	土 壤	播種覆土壤	50～100 cc/a	全 土 壤	寒冷地以西 から温暖地 東部まで	広葉雑草を主対象 とする。
	TOPE 乳	土 壤	播種直後 ～出芽期 (ノビエ1L まで)	160～240 cc/a	壤土～埴土	寒 冷 地 温 暖 地	ビニール畑苗代に 限る
Ⅳ 湛水直播	B-3015粒	土 壤	播種時3日	300	洪 積 火 山 灰	温暖地東部	
			播種後15 日 〔イネ1.5 L以上 エ1.0～ 2.0L〕	300～400	壤土～埴土 〔減水深2cm/日 以下〕	温暖地以西	
	B-3015乳	茎葉・土壤	播種後15 日前後 〔イネ1.5 L以上 ビエ1～ 2L〕	60～80 cc/a	壤土～埴土 (2cm/日以下)	温暖地以西	深水での使用はさ ける
	モリネート粒	茎葉・土壤	イネ出芽揃 後～1Lま で 〔ノビエ1. 5L期ま で〕	300	壤土～埴土 〔減水深2cm/日 以下〕	全 域	1.イネ科優占圃場 を対象とする

	薬 剤 名	処 理 法	処 理 時 期	使用量 (製品g/a)	適 用 土 壤	適用地帯	使用上の注意
Ⅳ 湛 水 直 播	DCPA・ ベンチオカーブ粒	茎葉・土壌	播種15日 前後 〔ノビエ2〕 〔5Lまで〕	300～400	壤土～埴土 〔極端な漏水田を〕 〔除く〕	寒冷地以西	1.有機リン剤、カ ーバメート系殺 虫剤との近接散 布をさける 2.深水処理で効果 やや高い
	BM-3015 粒	土 壌 処 理	播種後20 ～30日 〔ノビエ1〕 〔5Lまで〕 以下 イネ3～ 〔5L〕	300～400	砂 壤 土 ～ 埴 土 〔極端な漏水田を〕 〔除く〕	温暖地中部 以西	1.播種前後の前処 理剤との組み合 わせ使用が望ま しい
Ⅴ 乾 田 直 播	アミプロホス乳	土 壌 処 理	播種後 1日～3日	40～60	壤土～埴土	温暖地以西	1.広葉雑草の多発 地を除く
	B-3015乳	茎葉・土壌	播種直後及 び15日頃 〔ヒエ1.5〕 〔Lまで〕 イネ1～ 〔1.5L〕	60～100 cc/a	砂 壤 土 ～ 埴 土	温暖地以西	1.広葉雑草の少い ところ
	B-3015・ プロメトリン乳	土 壌 処 理	播種直後～ 出芽前まで 〔ノビエ1〕 〔0Lまで〕	60～80	壤土～埴土	温暖地以西	
	MO-9 粒	土 壌 処 理	入 水 後 〔ノビエ1L〕 〔まで〕	300～400	壤土～埴土 〔極端な漏水田は〕 〔除く〕	温暖地以西	1.漏水が安定して から使用する
	B-3015S 粒	茎葉・ 土壌処理	入 水 後 〔ノビエ2L〕 〔まで〕	300～400	砂 壤 土 ～ 埴 土 〔極端な漏水田は〕 〔除く〕	温暖地以西	※
	BM-3015 粒	土 壌 処 理	入 水 後 〔ノビエ1.5〕 〔Lまで〕	300～400	砂 壤 土 ～ 埴 土 〔極端な漏水田は〕 〔除く〕	温暖地以西	1.漏水が安定した のちに使用する
	DCPA改良乳	茎葉処理	播種後10 ～15日 〔ノビエ2〕 〔～2.5L〕	100～120 cc/a	全 土 壤	温暖地以西	DCPA剤に準ず る
Ⅵ 畦 畔 雑 草	ATA・DCMU 水和	茎葉・土壌	雑草生育初 期	40～60	壤土～埴土	全 域	1.ノリ面散布さけ る 2.流入による薬害 のおそれがある ので充分注意す る 3.稲体にかからな いように散布す る

	薬 剤 名	処 理 法	処 理 時 期	使用量 (製品g/a)	適用土 壤	適用地帯	使用上の注意
Ⅵ 畦 畔 雑 草	DPA・MCP・ DCMU水和	茎葉・ 土壌処理	雑草発生前 と 盛 期	100	砂 壤 土～ 埴 土	全 域	1.ノリ面散布さける 2.流入のおそれがあるので充分注意する 3.稲体にかからないようにする
	D C M U 水和	茎葉・ 土壌処理	雑草発生前 期	20～ 30	全 土 壤	暖 地	1.ノリ面散布はさける 2.流入のおそれがあるので充分注意 3.稲体にかからないようにする
	D P A 水 溶	茎葉・ 土壌処理	雑草発生前 と 盛 期 (畦 B)	50～100	全 土 壤	温暖地以西	1.ノリ面散布さける 2.流入の恐れがあるので十分考慮する 3.稲体にかからないように注意 4.イネ科雑草を主対象とする
	DPA・ DCMU水和	土 壤 処 理	田 植 前	100～120	埴 土 ～ 埴 土	寒冷地以西	1.流入のおそれがあるので十分考慮する
Ⅶ 休 耕 田	ATA・ DCMU水和	茎葉・ 土壌処理	雑草生育初期 (4～7 日)	40～ 60	全 土 壤	全 域	1.隣接圃場への飛散流入について 厳重に注意する
	PCP・MCP・ DCBN粒	土 壤 処 理	代かき後雑 草発生前～ 始期 (4～7月)	600～900	全 土 壤	全 域	隣接圃場への流入 については厳重に 注意する

新 登 録 除 草 剤 一 覧

農 林 省 農 政 局 植 物 防 疫 課
昭和46年11月1日～12月31日

分類	種 類 名	商 品 名	有効成分の種類・含有率	剤型	適用作物名 適用 場所	適用雑草木名	使用時期	10アール当 り 使用量	使用方法	登録会社
非 ホ ル モ ン 型 除 草 剤	塩素酸塩 除草剤	クロレートS	塩素酸 ナトリウム50.0% 重炭酸ナトリウム30.0%	粒剤	造 林 地 ・ 開 墾 予 定 地	ススキ、イタドリ、フキ、スダヒエ、ヨモギ、シダ、スギナ、メヒシバ、ドクダミ、スズメノテッポウ等	対象雑草がある程度成長した時期 (4月下旬～6月下旬)	10～15kg	茎葉散布	昭和電工